

# HOKKAIDO BANK

# News Release

平成 27 年 2 月 16 日

各 位

株式会社 北海道銀行

## 道銀アグリビジネスファンドによる 北海道そば製粉株式会社への出資について

北海道銀行（頭取 堰八義博）は、株式会社 農林漁業成長産業化支援機構（A-FIVE）等と組成している「道銀アグリビジネスファンド」（無限責任組員：北海道ベンチャーキャピタル株式会社）を通じ、北海道そば製粉株式会社に、1 億円の出資を行うことを決定いたしました。

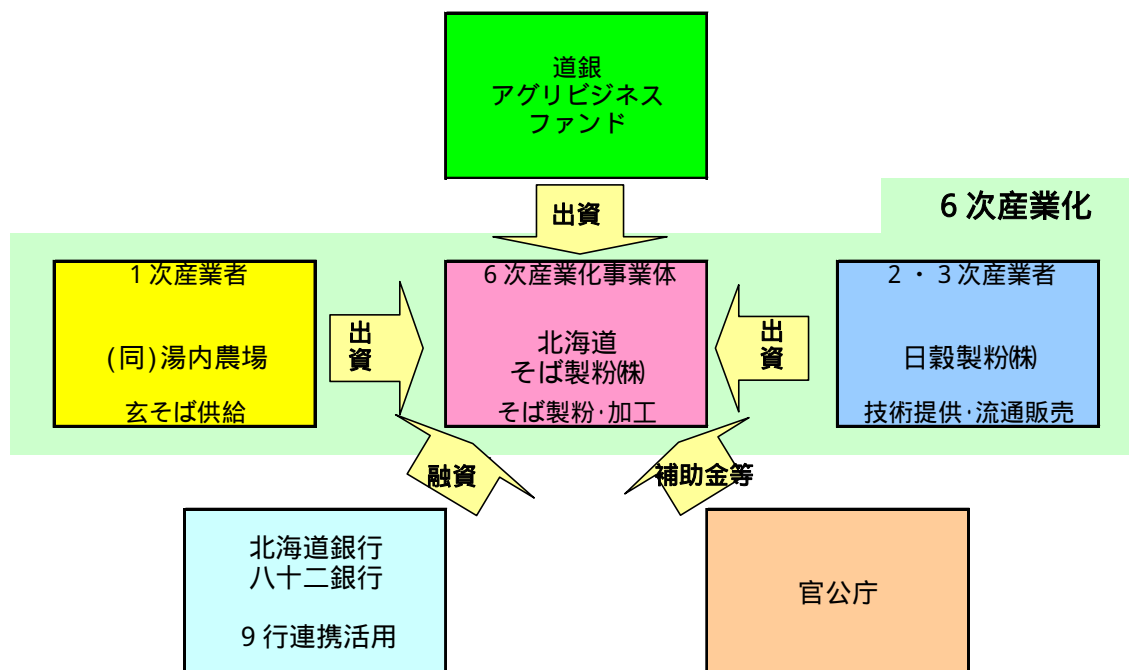
本件は、道銀アグリビジネスファンドの第 1 号出資案件となります。

内容は下記の通りです。

### 記

#### 1. プロジェクトのイメージ

日本一を誇る北海道のそば生産力に、製粉・加工・販売力を融合させることで、北海道産の玄そばを北海道内で製粉することを実現し、官民一体で北海道産そばのブランド力を高め、道内外に発信することを目指しています。



## 2. プロジェクトの概要

- (1) (同)湯内農場と日穀製粉(株)が共同出資し新会社：北海道そば製粉(株)を設立。本件ファンドは新会社に1億円出資。
- (2) (同)湯内農場等の北海道内のそば農家から生産された玄そばを北海道そば製粉(株)が製粉加工。
- (3) 製品は日穀製粉(株)の販路・ネットワークを活用し道内外に販売。将来的には販売部門の内製化も視野。
- (4) 北海道そば製粉(株)は苫小牧市に製粉・加工工場を新設。
- (5) 当行は地域再生・活性化ネットワーク(9行連携)を活用し金融支援。
- (6) 北海道・苫小牧市は用地確保や補助金等でサポート。

## 3. プロジェクトの意義

- (1) そば産地における生産拡大が期待できること。
- (2) 北海道ブランドの確立による商品競争力の向上が期待できること。
- (3) 6次産業化を実現し北海道内でバリューチェーンを構築すること。
- (4) 農業者の大口販路や事業継続パートナーが確保できること。
- (5) そばを北海道内で製粉することによって時間・輸送コストを削減できること。

## 4. プロジェクトが目指す将来像

- (1) そば産地の地域活性化・地方創生
- (2) 北海道全体の農業の底上げ・農業者の所得向上
- (3) 高い品質の製品製造・商品提供
- (4) そばを活用した新製品の開発・販売

## 5. 北海道そば製粉株式会社の概要

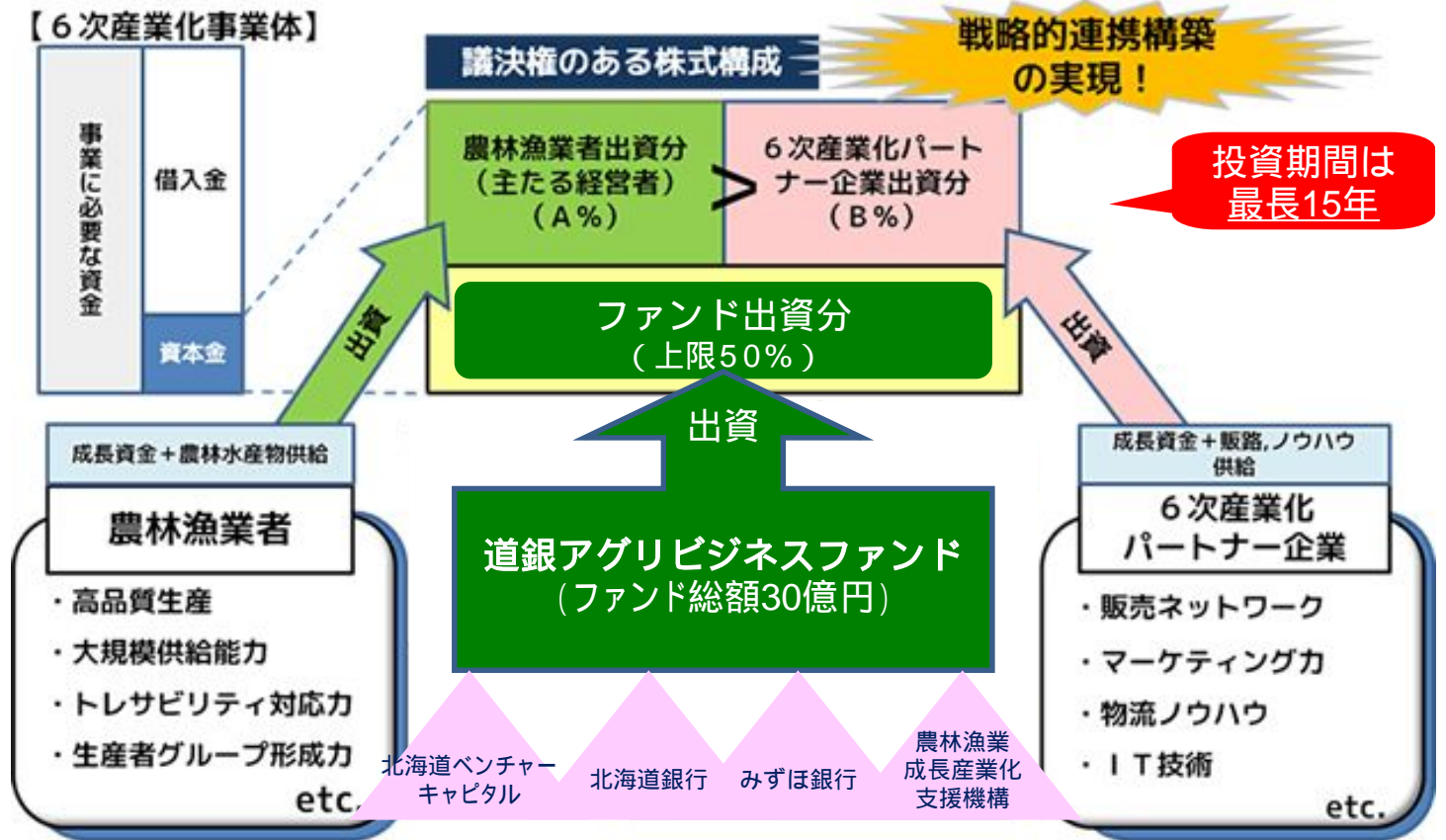
所在地	苫小牧市字柏原 32 番地の 6 ( 苫東工業地域内 )
代表者	代表取締役社長 松島 永典
事業内容	そば製粉・加工
ファンド出資額	1 億円
資金使途	そば製粉・加工工場新設に伴う事業資金
総事業費	9 億円

## 6. 総事業費と調達計画のイメージ

総事業費 9億円	借入金	北海道銀行・八十二銀行 6億円 地域再生・活性化ネットワーク (9行連携)活用
		A - FIVE 資本性劣後ローン 1億円
	出資金	(同)湯内農場・日穀製粉(株) 1億円
		道銀アグリビジネスファンド 1億円

以上

# 道銀アグリビジネスファンド



道銀アグリビジネスファンドは、当行と農林漁業成長産業化支援機構等が出資するファンドです。

北海道における1次産業者と2・3次産業者との連携による新たな事業機会の創出や付加価値創造を目的としたファンドであり、北海道ベンチャーキャピタルが運営・管理を行います。ファンド総額は30億円です。

北海道銀行は地域金融機関としてこのファンドを活用し、6次産業化を支援するとともに地域振興・地方創生に貢献し、農林漁分野の活性化に寄与してまいります。

## 【お問い合わせ先】

北海道銀行営業推進部アグリビジネス推進室 佐藤・松田 TEL 011 233 1066  
北海道銀行経営企画部広報CSR室 大海・石田 TEL 011 233 1005